



かみかわ  
議会広報 第21号

昭和54年 9月発行

かみかわ  
議会広報  
第30号

昭和56年11月発行

【議会広報200号記念号】



Gikai booklet  
Anniversary!

発行者 上川町議会  
編集者 議会広報特別委員会

かみかわ  
議会広報



発行/上川町議会 編集/議会

議会だより

第89号  
平成9年10月発行  
発行 上川町議会  
編集 議会広報特別委員会



かみんくホールオープンセレモニー

行政報告 (旭川赤十字病院附属風雲峡診療所の閉鎖について) ……	P 2～P 3
一般質問 ……	P 4～P 11
委員会の動き (総務財政・産業建設・文教民生) ……	P 12～P 15
行政のそこが知りたい ……	P 16



「力をふりしほって、よいしょっ！」  
(中の保育所老朽つぎ大会)



かみかわ  
議会広報

第200号 令和8年2月発行

200号記念町民インタビュー …… P 2～6

町議会 審議結果 …… P 14～17  
11月臨時会 12月定例会

議会ニュース …… P 7

委員会等の動き …… P 18～19

一般質問 …… P 8～13

議長新年の挨拶 …… P 20

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会

# 議会広報が 200 号 の節目を迎えました

創刊号は昭和49年9月  
発刊！サイズはB5判と  
ちいさめでした

積み重ねた  
51年間

記念すべき  
創刊号

昭和49年9月に創刊した上川町議会広報は、約51年の歳月を経て、ついに200号を発刊しました。

これからも議会の情報発信という役割を果たし、町民のみなさまに議会を身近に感じて頂けるよう、わかりやすく、親しみやすい広報誌を目指してまいります。

創刊号の表紙はもくもくと蒸気を上げる白水沢四号井。地熱エネルギーの源泉となる場所で、昭和43～47年の調査で初めて蒸気が確認されました

内容は、24頁中21頁が一般質問。15件もの一般質問が掲載されていました



上川町長  
西木 光英

この度、かみかわ議会広報「凜」が記念すべき第200号を発刊されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

創刊以来、議会活動や町政情報を分かりやすく提供し、町民の皆様と議会・町政を結ぶ重要な架け橋として、その役割を果たしてこられました。関係者の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

200号という節目を新たなスタートとし、本誌がこれからも時代の変化を捉え、町民の皆様に愛される活きた情報を発信し続けてくれることを期待いたします。

広報誌の益々のご発展と、議員各位、町民の皆様のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます、祝辞といたします。

祝辞を頂戴しました



上川町議会議長  
濱田 純子

この度、議会広報誌が記念すべき第200号を迎えました。

昭和49年9月の創刊以来、町議会の活動内容を正確かつ簡潔にまとめて住民の皆様方に町政の現状をご理解いただくとともに、議会の動きを知ってもらい間接的に議会に参加していただく大きな役割を担ってまいりました。

今後もより一層親しまれる広報誌として紙面の充実に努めながら、又時代の流れでオンライン広報も見据えていかなければと考えております。

創刊以来51年間議会広報に携わった多くの先輩各位と編集関係者に深く敬意を申し上げ、200号発刊の言葉といたします。



これからの議会広報、

これからの上川町に、何を望みますか？

各世代の町民6人にお話を伺いました



「難しい話題もイラスト等を  
入り口に」

おでらおとし おう き  
大平落 央樹さん

(20代・大学生・上川町居住歴1年)

Q. 議会広報の改善点を教えてください！

A. いきなり文章で詳細に書かれていても、難しい言葉もあって理解するのが大変です。例えば、今回の議会が出た話題をイラストや図でまとめたページが最初にあって、自分が気になった話題を文章で読みこむ、という構成だと理解しやすくなると思いました。

Q. 前回の議会広報(199号)のご感想は？

A. 一般質問など、発言通りに書かれているので内容は確かなのですが、読み物としてはもう少し要約してあると嬉しいですね。『議会の謎』は面白いと感じました。議会の仕組み自体を知らない人も多いと思うので、解説ページがあると親しみやすいです。

Q. これからの上川町はどんな町であってほしいですか？

A. 都会を目指してどこにでもあるような町になるのではなく、『上川町ならではの』良さがたくさんある、そんな未来を期待しています。

## 各世代の町民に聞きました!



- Q1 議会広報の改善点を教えてください!
- Q2 前回の議会広報(199号)のご感想は?
- Q3 上川町はどんな町であって欲しいですか?

### 「親しみを感じる写真がみたい」

おお たり こ  
太田 麻里子さん

(30代・センター薬局勤務・上川町居住歴7年)



- A1 馴染みやすい言葉、たとえば財政なら『使ったお金』『へそくり』など、家計簿みたいに説明してもらえるとイメージしやすいです。もっと写真が欲しいです!まじめな写真だけではなく、現場で活動する様子や、ニコッと笑っている写真があると目に留まります。『あ、近所の〇〇さんだ!』と思うと、それだけで読んでみようという気持ちになります。
- A2 率直に言うと「結局、何を伝えたかったんだろう?」と感じました。注目すべきポイントに導いてくれるような記事だといいなと思います。
- A3 やはり『子どもへの投資』が大切だと思います。保育園留学や施設の建て替え。あるいは、旭川へ習い事に通う子どものために、送迎や補助があつたりすると助かりますね。

### 「悲観でなく共感のまちづくりを」

さとう しゅうこう  
佐藤 秀光さん

(60代・カフェ店主・上川町居住歴22年)



- A1 お役所言葉を多用しているため、町民にはわかりづらく、頭に入ってこないです。
- A2 一般質問(まちづくり)の町長答弁の、「上川町がこれまで不得意だった芸術、文化などの分野も取り入れ、新たな町の魅力としていきたい」とのご回答に、我が意を得たりと感じました。大いにやっていただきたい!
- A3 過去には町の中心地を歩いても、誰にも出くわさない寂しい日が多かったが、「PORTO」や新たなカフェ等ができ、少しずつ町に若い息吹が感じられるようになりました。これからの上川町は「悲観」ではなく「共感」で新しい未来を創造して頂きたいです。

インタビュー企画

聞く!  
町民に

200号記念



### 「町民こそ、上川町の良いところを知るべき」

よこい ひろゆき  
横井 寛之さん

(40代・会社員・上川町居住歴40年以上)

- A1 議員ではない、政策にあまり詳しくない人も読みやすいように、もう少し字を大きくして、目立つ誌面にしてみてもいいでしょう。
- A2 やっぱり中身は、一般町民にはわかりにくいです。
- A3 私は生まれも育ちも上川町ですが、温かい人が多くて、町外の人からは、こんなに人がいい町はなかなかないと聞きます。町民が他の町を見学するような企画をしてみてもいい?他の町のすごいところを見習うことができるし、上川町の良いところも再確認できると思います。あと昨年ベースボール5のイベントが行われましたが、例えばその専用球場を作ってみるとか、スポーツがもっと盛り上がるといいですね。

### 「町がやっていることをもっと解説してください」

さとう くみこ  
佐藤 久美子さん

(50代・自営業・上川町居住歴50年以上)

- A1 議会という固いイメージ。若い人に読んでもらうように、例えば4コマ漫画を取り入れてみたらどうでしょう。また、議会の内容も大事ですが、もっと町の政策、例えば空き家対策や移住促進などの取り組み自体をくわしく教えてくれると助かります。
- A2 表紙の写真が爽やかです。表紙にインパクトがあると手に取りたくなりますね。
- A3 人口減少で先行きが不安ですが、自然豊かな土地を活かした特産品や観光など、活気のある町になって、来てくれた人がいいところだと言ってくれる町であるとうれしいです。

議会の愛称「凧」ってなに?

この愛称が付けられたのは平成13年。凧の字には「態度・容姿・声などが、きびしくひきしまっているさま」という意味があり、議員のあるべき姿をこの字に重ね、名付けたそうです。

題字をデザインしたのは、当時広報委員だった沢田武志議員の娘さんでした。

長年使って頂き光栄です。しかしながら「我が家が新しい題字を」という方がいらっしゃいましたら喜んでお譲りします!



題字を描いた志穂子さん



## 「若い人のための働き場を」

さいとう のぶ お  
齊藤 信男さん (80代・無職・上川町居住歴60年以上)

Q. 議会広報の改善点を教えてください！

A. 広報の改善点は思いつきませんが、議会は開催時間をずらすなどの工夫によって、もっともっと傍聴する町民が増えることと思います。平日日中ですと、働いている人たちはなかなか行くことはできません。

Q. 前回の議会広報(199号)のご感想は？

A. 一般質問(観光都市)の内容については非常に肝心なことと思います。実際、観光の町であるなら、夜も明るく開放的な町がいいと思います。

Q. これからの上川町はどんな町であってほしいですか？

A. 上川町には若い人の働き場がなく、やむなく町外へ出て行っているのかなと思います。何らかの方法で働き場を増やしてもらいたいです。



### 委員長の言葉

議会広報特別委員会

委員長 宮本 敬嘉



議会広報200号を記念して、一言ご挨拶申し上げます。日頃から議会広報を読んでいた、皆様ご存じの通り議会広報は、議会の活動を知ってもらうためのものです。内容の正確を期するため、どうしても専門用語や難しい言葉があるのはお許しください。今号の発行にあたり、町民の方々にインタビューをして、色々なご意見やアイデアをいただきました。それらを今後の紙面づくりに活かして、皆さんが読みやすい議会広報を目指し努力していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## まちづくりトークを募集しています！

「町政に対する議員の考えを聞きたい」  
「とにかく議員と話してみたい！」

そんなご要望ありませんか？まちづくりトークは、町民の皆さんと議員との対話の場として始まった制度です。まずはお気軽にご相談ください。  
(上川町議会事務局 01658-2-4064)

《おもな要件》

- ・5名以上の参加者が見込めること
- ・開催場所を申込者にご用意いただくこと
- ・時間は1時間30分程



# 議会 ニュース

## 3つの町から視察を受け入れました！

10月9日 中標津町議会 さま  
テーマ「大雪かみかわヌクモについて」



廃校を利活用した大雪かみかわヌクモの町民や観光客の利用状況や、カミカワークプロジェクトとの関連性などについて質問を受けました。

－議員の資質向上－

## 議員研修会に行ってきました！

11月6日、旭川市で上川管内町村議会議員研修会が開催され、議員10名が出席しました。「議会改革の現状と課題～地方議会の将来に向けて～」  
「最新裁判例から見るハラスメントの傾向と対策～その原因と予防法～」  
の2件の講演を聞き、理解を深めました。

10月29日 興部町議会 さま  
テーマ「介護医療院つつじ苑について」



介護医療院の開設や運営にあたっての課題と問題点、入所者の尊厳を守るために工夫していることなどについて質問を受けました。

11月5日 福島県南会津町議会 さま  
テーマ「移住定住として  
KAMIKAWORKの取り組みについて」



「KAMIKAWORK」の取り組み内容や、カミカワークプロデューサーの応募・定住状況などについて質問を受けました。

－議会の権限－

## 意見書を提出しました！

町民などからの要望や意見を国の機関へ意見書として提出しています。12月定例会では下記2件の意見書を採択しました。

- ◆国立・公立・公的医療機関の機能強化を求める意見書
- ◆食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める意見書

# 町政を問う

# 一般質問

Q. 「一般質問」ってなに？  
A. 議員が町政の現状や方針を問うもので、議員の願う政策や展望も語ることでできる貴重な場です。

## 12月定例会は4人が質問しました

- P 8～ 瀬上議員 「新年度予算編成へ向けての現状と今後の見通しについて」  
P10～ 湯川議員 「町の機構改革とネーミング・ライツについて」  
P11～ 小林議員 「公営住宅の有効活用について」  
「上川町の人工透析の現状と課題について」  
P12～ 溝口議員 「介護保険加入者の保険料負担軽減について」  
「上川町の防災・危機管理の充実について」

※質疑の要点のみ掲載しております。



昨年北見市が、財源不足により新年度予算が提出できない事態に陥った。このような事態はどこの自治体にも起こりうる

### 新年度予算編成へ向けての現状と今後の見通しについて

### 財政

7億円超の財源不足にどう対応するか

町長 公共施設の適正管理、宿泊税等の新たな財源確保など、やることはたくさんある

#### 瀬上議員

現在、新年度予算編成の作業中であると思うが、急激な物価高騰による歳出の増加や人口減少による税収入の減など非常に厳しい状況にあると察する。

現時点での予算編成の状況と見通しについて伺う。

#### 町長

新年度予算について、歳入では、国勢調査※で人口減少の結果が出たことから地方交付税※が減額の見込みである。町税も期待できない。

歳出では、物価高騰や人件



心ちがみ かずみ 議員  
瀬上 主美

費の増加などから、近年になり厳しい予算となっている。新年度から公共温浴施設の町外者利用負担額を改定し、財源確保に努める。

新年度以降厳しい財政状況が予想されることから、次期第11次総合計画に向けて財政シミュレーションや公共施設の管理維持計画を策定し、行財政運営の強化に努める。

#### 瀬上議員

歳入と歳出で、どれくらいの開きがあるのか。

#### 町長

現段階で7億9

千万円の乖離がある。

**【湖上議員】** 地方交付税は、人口減少によりどの程度減少するのか。

**【町長】** 人口は350人程度減少し、今年度の算定ベースでいくと1億3千万円以上の減額になる。

**【湖上議員】** 物価高騰と人件費の上昇による歳出への影響額はいくらか。

**【町長】** 物価高騰の影響額は具体的には押さえていないが、4億円程度の増。人件費の上昇分は6800万円の増だ。

**【湖上議員】** 上川町は、同規模の自治体に比べ非常に基金（まちの貯金）が少ない。基金に余裕があれば今回のような事態があっても対応できるが、現在の基金額ではそれも難しい。

現在開催中の国会で地方交付税の追加交付が決まりそう

だが、もし追加交付された時は、その増額分を基金に積み立ててはどうか。

**【町長】** そうしたいが、今後の財政状況しだいだ。

**【湖上議員】** 今後2年間は、向こう10年の方向性を決める大事な年だ。人口減少により財政面や人材不足が深刻化する中、事業の縮小や廃止もあり得る。

覚悟を持って取り組む必要があり、町職員の英知を集め乗り越えてもらうことに期待と応援を寄せる。

**【町長】** 今後のため、財政シミュレーションや公共施設の管理維持計画を策定する。議会から指摘があった道路改修については、費用が高額であるため、有利な財源の確保に努めていく。

また、宿泊税の議論を進め、有効財源として活用できるように検討していく。

来年3月議会には新年度予算を提案できるように取り組ん

でいきたい。



これで分かる！  
一般質問読み解きワード

### ※地方交付税

：町の規模に応じて国から毎年交付されるお金。

住民が少なく住民税等の収入が少ない小規模自治体の重要な財源となっており、上川町においても、地方交付税が一般会計歳入の52%（R6決算値）を占めています。

### ※国勢調査

：5年に1度の統計調査。これで判明した人口が算定根拠のひとつとなり、上川町の地方交付税の額が決まります。



## 過去の議会を動画で見ることができます

### ！ YouTube の議会チャンネルへアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで

### 【上川町議会チャンネル】

と検索してみてください。



観光

町の宣伝と財源確保のためにネーミングライツを導入しては

町長 今では企業版ふるさと納税に力を入れる

町の機構改革とネーミングライツについて



スポーツ施設や文化ホール等の命名権（ネーミングライツ）売却で、施設の維持費を賄う自治体も増えてきている

それらの財源が懸念されるところだが、一つのやり方としてネーミングライツ※を導入し、財源の補填や地域活性化につなげていくべきと考えますが、町長の考えを伺う。

また、産業経済課について、主要産業である観光を含め、再編についての考え方を伺いたい。

町長 ネーミングライツについて、財源確保のために今後検討していくが、この事業は町内外の企業から投資を頂ける「魅力ある町の公共施設」であることが重要だ。町全体で町の魅力、価値の向上に取り組んでいく。

産業経済課については、観光のみならず商工業・農林水産業等のまちの重要な産業に関わる政策を担う部署だ。現



ゆかわ しゅういち 議員 湯川 秀一

状の体制を維持していく。

湯川議員 町の各産業から要望を上げていく時期だが、町が財政難だから要望が通らないのでは、と心配の声が上がっている。

財源のひとつであるふるさと納税の現時点での金額と、来年度の目標額はいくらか。

町長 現時点で1億円を突破し、来年度は1.3億円を目指す。関係人口や企業版ふるさと納税を獲得することで収入確保につなげたい。

湯川議員 ネーミングライツについて、上川町の観光施設にはまだまだポテンシャルがあると思っている。町や施設の宣伝もかねてネーミングライツを導入してみてもどうか。

町長 かみんぐホール、又クモ、大雪森のガーデン等が候補地となると思うが、企業側にもメリットがあることが重要である。そのため今は企業版ふるさと納税※に力を入れたい。

湯川議員 産業経済課の再編について、当町の産業経済課は相当忙しい部署だと思う。人員増や課の分割は考えていないのか。

町長 産業経済課は農・商・観と業務が多岐にわたり、大変だとは思っている。しかし、人員不足は他課も同様である。今のところ現行人員で対応していく予定だが、大きなプロジェクトがあるときは人を増やすなど、メリハリを付けた人員配置を行っていく。

湯川議員 町は組織再編を進める中で、ふるさと応援係（ふるさと納税・上川会等ふるさと対策）を新設の予定である。公共施設についても「施設管理課」を設け、営繕・維持体制を整えるとのことだ。



これで分かる！  
一般質問読み解きワード

※ネーミングライツ  
…企業が施設やイベントを命名することができる権利。

※企業版ふるさと納税  
…企業から町への寄付。このことによって法人税の軽減を受けられるメリットがあります。

寄付金の使途は企業と町で話しあって決められます。例えば今年も、企業からの「空き店舗を再生活用し地域活性化につなげてほしい」との意向を受け、空き店舗再生プロジェクトが始まっています。



企業版ふるさと納税でリノベーション予定の空き店舗

## 公営住宅

公営住宅の空室を活用しては 他1件  
町長 町民以外でも入居は可能。活用用途によっては改修費もかかるため慎重に検討

## 公営住宅の有効活用について



町営住宅は入居者を町民に限定しており、空室は全体の約3割となっている

めるよう、柔軟に活用すべきでは。

町長 町営住宅は、住宅に困窮する低所得者に住宅を提供することを目的に管理している。現在の管理戸数は約270戸だが、老朽化により用途廃止を予定している団地もあり、将来的には200戸程度に減らす計画だ。

一方、国の制度を活用すれば、条件付きで目的外使用も可能だ。層雲峡の従業員や外国人労働者の方についても、条件が整えば入居できる場合があり、今後の利活用について検討していく。

小林議員 町営住宅に入る際、前家賃が必要だが、移住して間もない方には大きな負担だ。また、芸術家の滞在

施設など、多様な住居活用も考えられるのではないか。

町長 前家賃は敷金として返還されるものだが、負担感があることは理解している。民間住宅との公平性も考慮しつつ、見直しの余地があるか研究していく。

住居の多様な活用についても、老朽化の状況や改修費、将来の管理責任を踏まえたうえで、ルールを整えながら検討していきたい。

## 上川町の人工透析の現状と課題について

小林議員 上川町では、多くの方が旭川まで通院して人工透析※を受けており、特



こばやし つくお 議員

に冬季は移動の負担が大きい。町で在宅透析の環境を整えることで、仕事や生活が続けやすくなるのでは。

**町長** 現在、血液透析を受けている方は8名、腹膜透析は1名である。通院負担の軽減は重要な課題と認識している。

在宅透析は生活の質向上につながるが、家族の負担や医療機関の支援体制が欠かせない。医療センターとも連携し、患者本人の希望や主治医の判断を尊重しながら、導入に向けた課題や支援策について調査研究を進めていく。

また、保健師や栄養士による生活指導を継続し、腎機能悪化を防ぐ予防の取り組みについても更に検討していく。

Check!

これで分かる！  
一般質問読み解きワード

※人工透析

：腎臓病の治療で、週に3回程度、1回あたり4〜5時間ほどかけて行われます。

介護保険

物価高騰 保険料を下げても 他1件

**町長** 8年度の介護報酬改定で、給付費がどれだけ上がるか判明するまで下げられない

介護保険加入者の保険料負担軽減について



介護保険は40歳以上の全ての町民が払う保険料をもとに運営され、黒字により基金が貯まってきている

負担を少しでも軽減するため、保険料基準月額を引き下げるべきと思うが、町長の考えを伺う。

**町長** 介護保険事業は比較的財政が安定しており、積立額が多くなっている。

このような財政状況を踏まえ、8年度中に、介護報酬改定や要介護認定者数の推移など、財政に影響する要素を見極めつつ、介護保険料について検討していく予定だ。

**溝口議員** 保険料を下げる方向でいくということか。

**町長** 今の時点で下げるとは正直言えない。

国は8年度に介護報酬の改定を予定している。人件費の部分の処遇改善がメインだと

いうことはわかっているが、物価高騰の部分についてはまだ見えていない。

基金は、介護報酬単価が上がった場合の給付費の補填にも使う可能性があるため残しておきたい。

**溝口議員** 一般の保険会社と違い、介護保険は公的なものだ。儲けはいらさず、赤字にならない方がいい。加入者の負担軽減を望む。

**町長** 保険料を絶対に下げないということではないので、理解いただきたい。

ただ今後、介護報酬が今の人件費や物価に見合った額に改定され、給付費が多くなる可能性がある。そこを見極め対応したい。



みぞぐち ひさお 議員

溝口議員

物価高騰が町の財政を圧迫しているというが、それは町民も同じだ。今後の対応をお願いしたい。

Check!

これで分かる！  
一般質問読み解きワード

※介護保険事業

…介護事業の基本は「町民から保険料を集め、町民の介護費用の7〜9割を賄う（介護給付費）」です。

その年たまたま給付費が抑えられれば基金として貯金し、給付費が爆増すれば、基金を取り崩して賄います。尚この基金は、給付費の補填と、保険料の抑制などに限られた用途にしか使えない…悩ましいお金なんです。



上川町の防災・危機管理の充実について



災害情報を流す屋外スピーカー。音声が届かない郊外では、各家庭に戸別受信機が設置されている。

溝口議員

上川町の防災・危機管理について、屋外拡声スピーカー、戸別受信機などで災害発生時の迅速な周知を図ることとしているが、戸別受信機の増設・普及や活用方法など、実態はまだまだ不十分だ。今後の対応は。

町長

防災情報の周知方法は、屋外拡声スピーカーと、音声が届かない地区には戸別受信機を配置している。

また、音声が届き取れなかったときの対応として、電話で聞き返すことができる「聞き返しダイヤル」※を設置している。

今後においては、特定エリア内の携帯電話に対する一斉同報システムである「エリアメール」や、地域災害情報をテレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報共有できる「Lアラート」等を活用していく。

溝口議員

戸別受信機は周辺地区用ということで、現在200台しかない。

市街地の屋外スピーカーは聞き取りにくく、家の中になると聞こえないという話も聞く。戸別受信機の増設は考えていないのか。

町長

市街地の分まで増やすことは考えていない。それに代用する新しいシステムを活用したい。

溝口議員

新しいシステムがあると言うが、高齢者の多い町で、町の思うとおりに町民が利用していただけるだろうか。

いざという時に高齢の方でも利用できるよう、手引書な

ど作っては。

町長

システムの利用方法を周知することは必要だと思う。そのうえで最終的には人海戦術や、スピーカー付き公用車で皆さんにお知らせすることも考えている。

溝口議員

これから冬になる。停電についても、復旧に長時間かかるときは知らせたい。

町長

北海道電力からの停電情報のほか、電話での聞き取りや現地の見回りなどでも情報を集め、住民に周知していきたい。

Check!

これで分かる！  
一般質問読み解きワード

※聞き返しダイヤル

…屋外スピーカーの内容が聞き取れなかった時は

2・22223  
2・26000

へコール！直近で流された情報を聞くことができます。

11月臨時  
12月定例

# PICK UP！まちのアレコレ、どうなってるの？ おもな審議結果を紹介



## 最近の会議等

10月31日総務文教常任委員会  
11月25日全員協議会  
産業福祉常任委員会  
11月28日議会（臨時会）  
12月11日議会（定例会）

11月28日の臨時議会、12月11日の定例議会において計30件の議案が審議され、すべて可決されました。（審議結果の一覧は17ページ）

今回は、議会をはじめ委員会や全員協議会で話し合いを深めてきた内容のなかから、特に町民の暮らしに直結するものをご紹介します。



議案第93号 一時預かり事業実施条例の制定

（スケジュール）11月常任委員会で提案  
12月定例会で条例提出  
3月定例会で再審議

## 一時預かり事業の拡大 令和8年度スタートめざす

町民だけが対象だった、こども園の一時預かり事業を町民以外にも拡大します。また、保護者の育児疲れによる利用などについても条文に明記し、より使いやすい制度に生まれ変わります。



### ！政策のネライ！

- 親のリフレッシュ理由でもお預かりできるようにし、子育て世帯にゆとりを
- ワーケーションや里帰り出産の方のおさんを預かり、関係人口を増やす

## 子育てしやすい町づくり

委員会での事前質疑を18ページに掲載しています





議案第 103 号 一般会計補正予算 (第 5 号)

(スケジュール) 12 月定例会で予算提出

## ミラノ・コルティナオリンピック応援など 補正予算を追加

### 歳出の主な補正

- ミラノ・コルティナオリンピック応援のために 1,015 万 9 千円の支出増
- 認定こども園の光熱水費 120 万円の支出増
- 層雲峡消防署の給油取扱所計量器の修繕のため 67 万 1 千円の支出増
- 路線バス「上川層雲峡線」の利用者減により、道北バスへの補助金 119 万 6 千円の支出増
- 上川高校魅力ブランディング事業のため 110 万円の支出増

### ！上川町出身選手を応援！

2月冬季オリンピックに出場する上川町出身選手を応援すべく、現地応援団（7名予定）が派遣されるほか、かみんぐホールでパブリックビューイングが行われます。



議案第 96 号 課設置条例の一部改正

(スケジュール) 12 月定例会で条例提出  
4 月に条例が施行

## 上川町役場の窓口が変わる 令和 8 年 4 月に機構再編

1 階窓口が大きく変わる！



“上川の未来を  
思い描いて造る”  
そんな願いを込めて改名

公共施設の老朽化対策・計画に取り組む課が誕生！

令和 8 年 4 月から役場の機構図が変わります。住民の利用が多い「税務住民課」が 2 つに、「保健福祉課」が 3 つに分かれます。また、建設水道課から分離した「施設管理課」は、町内公共施設の老朽化問題に課を横断して取り組みます。

委員会・全員協議会での事前質疑を 18・19 ページに掲載しています



お金

議案第 87 号 一般会計補正予算（第 4 号）

（スケジュール）11 月臨時会で予算提出



## ふるさと納税で 5500 万円の歳入増

ふるさと納税のポイント付与が 10 月で終了となることから、9 月末までのふるさと納税寄付額が一気に増加し、歳入予算を 5,500 万円増額しました。

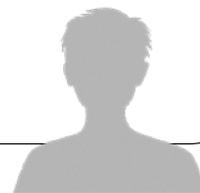
近年の人気商品は「北海道大雪サーモン」で、今年 9 月末時点で 3,513 件の寄付となっています。



### ！担当のつぶやき！

駆け込み需要で寄付額が伸び、驚きました！

今回の補正予算額のうち 7 割は「ふるさと応援基金」に積みれ、新年度のさまざまな事業経費にあてられます。ふるさと納税は、町の貴重な財源です。



## おふろの値段改定 町民は据え置き

議案第 98 号いきいき福祉健康施設設置条例の一部改正 及び 102 号大雪山バーデハウス設置条例の一部改正

人件費や施設の維持管理経費が増加したため、町内の公共温浴施設「たいせつの絆」と「黒岳の湯」の料金を値上げします。

大人は 200 円、小人は「たいせつの絆」が 200 円、「黒岳の湯」が 100 円値上げされます。町民についてはこれまでどおりの料金で利用できます。



## 町営牧野を町内農家に 売却しました

議案第 83 号財産（上川町営牧野）の処分について

町の財産である旭ヶ丘の町営牧野は、過去には牛の放牧用地でしたが現在は利用がなく、活用されていませんでした。

今回この土地を有効活用すべく、町内の農家に売却しました。今後は耕作地として利用される予定です。





# 一目でわかる 議会の結果

11月臨時会  
12月定例会

(重要度)

☆☆☆  
☆☆☆  
☆☆☆  
☆☆☆

町民の暮らしに直結する案件かどうか、広報委員会で独自に判断しました

重要度	件名	結果
<b>条例制定</b> 新しい条例をつくること。議会で提案されても即決はせず、必ず委員会へ付託（審査を依頼）し、次の定例会のときに採択か不採択か決める		
☆☆☆	一時預かり事業実施条例の制定	産業福祉 常任委員 会に付託
☆☆☆	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	
☆☆☆	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	
☆☆☆	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定※総務文教委員会での審査済	全会一致 で可決
<b>条例改正</b> すでにある条例を変えること。保険料が変わるなど町民の暮らしに直結する場合と、国の法律が変わる際にそれに合わせて町の条例を変えるなど形式的な場合とがある		
☆☆☆	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正	全会一致 で可決
☆☆☆	町長等の給与に関する条例の一部を改正	
☆☆☆	職員の給与に関する条例の一部を改正	
☆☆☆	課設置条例の一部を改正	
☆☆☆	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正	
☆☆☆	いきいき福祉健康施設設置条例の一部を改正	
☆☆☆	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正	
☆☆☆	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正	
☆☆☆	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
☆☆☆	大雪山バーデハウス設置条例の一部を改正	
<b>補正予算</b> お金が足りないぶんを補う補正（増額）と、予定より使わなかったためお金を戻す整理（減額）がある		
☆☆☆	一般会計補正予算 第4・5号	全会一致 で可決
☆☆☆	国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号	
☆☆☆	後期高齢者医療事業特別会計補正予算 第2号	
☆☆☆	介護保険事業特別会計補正予算 第2号	
☆☆☆	上川町立診療所（上川医療センター）事業特別会計補正予算 第4・5号	
☆☆☆	介護医療院（つつじ苑）事業特別会計補正予算 第1・2号	
☆☆☆	簡易水道事業会計補正予算 第1・2号	
☆☆☆	下水道事業会計補正予算 第2・3号	
<b>その他</b> 人事・契約・財産など		
☆☆☆	財産（上川町宮牧野）の処分	全会一致 で可決
☆☆☆	古川橋架替え工事請負契約の一部変更	
☆☆☆	連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	
<b>議員からの発議</b> 議員から提出する議案。おもに議会関係の条例改正や、議員の出張派遣など		
☆☆☆	議会委員会条例の一部を改正	全会一致 で可決

# 委員会の動き



## 総務文教常任委員会

▽10月31日

(議題)

- ・ 上川町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定
- ・ 行政事務組織等の再編
- ・ 上川高等学校魅力向上対策等
- ・ ミラノ・コルティナオリンピック応援体制

## 質疑 地域経済牽引事業者の固定資産税免除について

**笠間委員** 課税免除の対象者となる事業者はいるのか？

**税務住民課長** 現時点ではない。昨年、上川町基本計画を策定し、観光や農業分野にも適用を広げたため、それに合わせて課税免除の条例も作った。

## 質疑 行政組織(役場)の再編

**泉委員**

役場の課が再編されること。案を見たが、町民から見てもわかりづらいのではないかと。児童手当は税務保険課。子ども

家庭センターは、健康ふくし課と子ども子育て課が連携して運営するという。

子ども施策をまとめなかった理由は？

**総務課長**

児童手当と医療給付の対象者は共通していることが多いため、手続きが一度に終わるよう税務保険課にまとめた。子ども家庭センターは設置が義務化されたが、上川町のような小さな町では独立した課を設置することは難しいため、連携のかたちをとった。

基本的に住民目線に立つて分類したつもりだが、どうしても課をまたぐ手続きとなるとときもある。町民に迷惑がからないようサービスを維持していきたい。

**泉委員**

建設水道課を建設技術課と施設管理課に分けた理由は？

**総務課長** 当町の公共施設は、今後の維持管理に手間とお金がかかってくる。専門部署を立ち上げ、しっかりと行政運営していけるよう独立させた。

▽12月4日

所管事務に関する意見書審査

## 産業福祉常任委員会

▽11月25日

(議題)

- ・ 上川町一時預かり事業
- ・ こども誰でも通園制度
- ・ 上川町いきいき福祉健康施設設置条例の一部を改正する条例
- ・ 上川中部福祉事務組合への職員派遣
- ・ 工事等設計書の縦覧方法変更に係る試験運用の実施
- ・ 大雪山国立公園層雲峡地区活性化地域協議会
- ・ 層雲峡黒岳の湯利用料金の改定
- ・ 愛山溪俱樂部等施設無償貸付

## 質疑 いづも園・一時預かり事業

**宮本委員**

「心理的・肉体的負担等の私的理由」で申し込めるとのことだが、具体的には？

**いづも園長** 例えば育児疲れの際のリフレッシュが挙げられる。基本的には、理由を問わないで預かりする。

**宮本委員**

町民以外にも申し込めるようになるが、どのような方を想定しているのか？

**つごも園長** 里帰り出産で上川町に戻ってきた方や、子ども連れでワーケーションに来た方を想定している。

町で進めている交流人口、感動人口もしくは移住・定住につながるような仕組みとして取り組んでいきたい。

**測上委員** 母子家庭の方などからは夜間預かりの需要もあると思うが、可能か？

**つごも園長** 認定こども園の開園時間の範囲内ですか、お預かりできない。そのような場合、旭川市の「さぼねっと（上川中部圏域での一時預かり事業）※」につなげていく対応となる。

### 質疑 層雲峡観光について

**測上委員** ホテル層雲の跡地利用について、たくさん意見は出されたが具体化はまだとのこと。その理由は？

**産業経済課長** 財政的な問題のほか、実際に誰が経費を負担して、誰が主体となってやるのか、調整が取れていない。

また、層雲峡全体を考えた時に、ホテル層雲跡地にこだわるのでは

なく、層雲峡商店街に集中しては、という考え方もある。

**石山委員** 全国的に温泉観光自体が衰退してきている。若い方にアイデアを募り、層雲峡独自の新たな観光を考えてみては。

**産業経済課長** 今後は温泉だけではなく、商業・農業などと連携した形で人を呼び込みたい。

今回「層雲峡利用拠点計画」を作成したことで、環境省の上質化事業に申し込めるようになった。こちらにも活用していきたい。

### 質疑 愛山溪倶楽部の営業について

**湯川委員** 運営していたりんゆう観光が撤退し、新たな事業者を募るとのこと。山岳会等の関係者からは登山ルートの減少を心配する声もあるが。

**産業経済課長** 愛山溪倶楽部には登山基地の役割もあるため、維持していきたい。

**測上委員** ヒュッテについては冬季の避難小屋の役割もあり、残していく必要があるが、温泉の存続については今後検討する必要もあるのでは？

**町長** 現在リピーター客がたいへん多く、歴史・文化もある施設だ。できるだけ残していきたい。



登山客に愛されてきた愛山溪。温泉に入れる愛山溪倶楽部（右建物）とロッジとして使われるヒュッテがある（左建物）

▽12月4日

所管事務に関する意見書審査

### 議会広報特別委員会

▽10月31日・12月23日・1月15日  
議会広報第200号の編集及び校正について

### 全員協議会

▽11月25日

(議題)  
・特別職及び議員の報酬、職員給与等の改定  
・行政事務組織等の再編

### 質疑 行政組織(役場)の再編

**小林議員** 町民が困った時、特に課をまたぐような問題の場合の相談先は、どこの課になるのか？

**総務課長** 1階に設置される、くらし生活課の『広報くらし相談係』が窓口となる。

**大村議員** 新設の「子ども子育て課」の設置理由は？

**総務課長** これまでも子ども子育て「係」はあったが、町民からは相談先が分かりづらかったため、今回「課」として独立させた。

### 議会運営委員会

▽11月28日・12月8日  
上川町議会の運営について

上川町議会議長 濱田 純子

謹賀新年

本年最初の議会広報の発行に併せて御挨拶申し上げます。また、日頃から議会運営に対して格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、第50回層雲峡温泉氷瀑まつりが開催されました。極寒の層雲峡で半世紀も続いています。制作や運営、コロナ禍での維持、関係者方々のただならぬ努力の賜物と思います。今年は51回目、皆さん御参加ください。

春、元気な子供たちの声が集結しました。認定こども園「ここふれ」が誕生し、運動会やおゆうぎ会等で子供達の笑顔を見せていただきました。上川の宝物達、元気に育つてね。

2025年、今年の漢字は「熊」で、上川町も熊対策に頭を悩ませた年となりました。山あいのまち上川町、しっかり熊対策考えていきましょ。

晩秋、長年にわたり町の発展にご尽力された佐藤芳治氏、新井光雄氏の功績をたたえ、功労者表彰が行われました。今後も町全般の御指導をお願いいたします。



今年はミラノ・コルティナ五輪が開催され、原田雅彦さんが五輪副团长として参加されます。また、女子スキージャンプでは高梨沙羅さん、勢藤優花さんの活躍を期待したいと思います。地元選手がいるからこそ味わえる至福の時間、現地応援やパブリックビューイングで、心をひとつに応援しましょう。

早いもので議長を務めさせていただいて約2年になります。まだまだ成長過程にありますので、多種多様な御意見をいただき、議会運営に活かしていきたいです。

今年も御指導宜しくお願い申し上げます。年頭の挨拶いたします。

一般質問で町政は動き出す

たね 一般質問が実を結ぶ



令和4年3月の質問を覚えているでしょうか？



宮本議員「今年、大雪でたいせつの絆のまへの道路で何台もの車が立ち往生した。除雪体制が不十分では」

町長「除雪車の出動基準は“午前2時時点で降雪量が10センチ以上”だが、近年は朝方に多く降り、結果そのような事故が起こる。運用を見直す」



この質問をきっかけに  
除雪車の出動が増えました！

〔出動基準の見直し〕  
〔民間業者への委託〕



今後もより良い  
まちづくりに努めます